

# ① 「山口県の地域連携教育」 概要

社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組の推進

○小・中・高等学校の各段階を通じて、全県的な規模で、学校と家庭・地域の連携・協働による取組を推進  
～地域の活性化や地域課題の解決に向けた拠点としてのコミュニティ・スクールの機能の一層の充実～

### 山口県の地域連携教育

#### 「やまぐち型地域連携教育」の推進

コミュニティ・スクールを核とし、地域協育ネットの仕組みを生かして、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する取組を推進

○子どもたちの自己肯定感の高まり、郷土愛や地域貢献・社会貢献の意識の高まり等

学びの連続性 専門性の発揮 校種間連携による地域学校協働活動

#### 「テーマ型コミュニティ・スクール」の推進

人づくり・地域づくりの好循環

地域の活性化 → 貢献 → 学校運営の改善 → コミュニティ・スクール → 支援 → 大学の活性化

①学校・学科の特色や専門性に応じた、**高校ならではの取組**の推進

【具体的取組例】

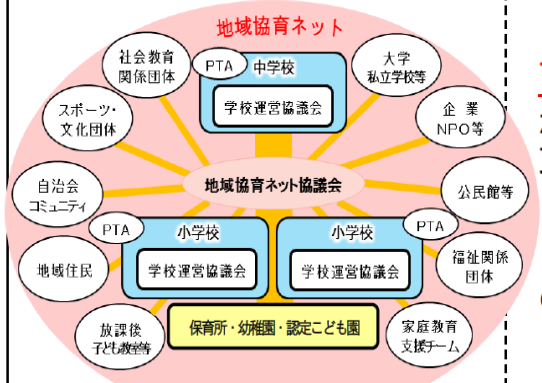
- ▶ 地元企業等と連携した特産品開発やインターンシップ
- ▶ 地元自治体へのまちづくりに関する提案
- ▶ 大学との連携による地域の環境保全に向けた探究的な学習

地域資源を生かした子どもたちの豊かな学びを実現  
～郷土を愛する心や地域の担い手としての意識の育成～

地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりの推進  
本県の将来を担う人材の育成 人口定住・地方創生の実現

小・中学校

## 「やまぐち型地域連携教育」の推進

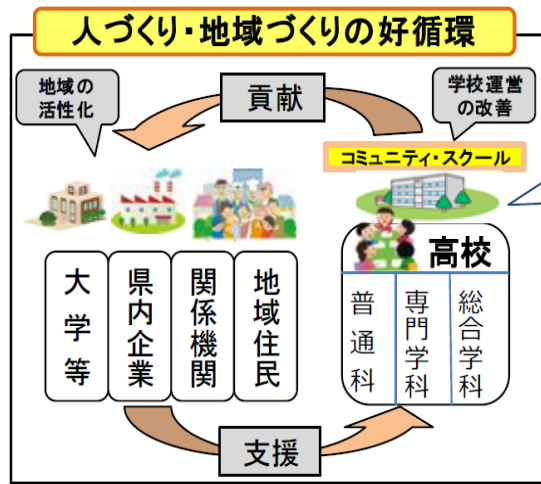


コミュニティ・スクールを核とし、**地域協育ネット**の仕組みを生かして、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する取組を推進

○子どもたちの自己肯定感の高まり、郷土愛や地域貢献・社会貢献の意識の高まり等

総合支援学校

## 「テーマ型コミュニティ・スクール」の推進



①学校・学科の特色や専門性に  
応じた、**高校ならではの取組**  
の推進

地域の活性化に  
貢献する活動

【具体的取組例】

- ▶ 地元企業等と連携した特産品開発やインターンシップ
- ▶ 地元自治体へのまちづくりに関する提案
- ▶ 大学との連携による地域の環境保全に向けた探究的な学習

高等学校

# ② 県立高校の学校運営協議会について

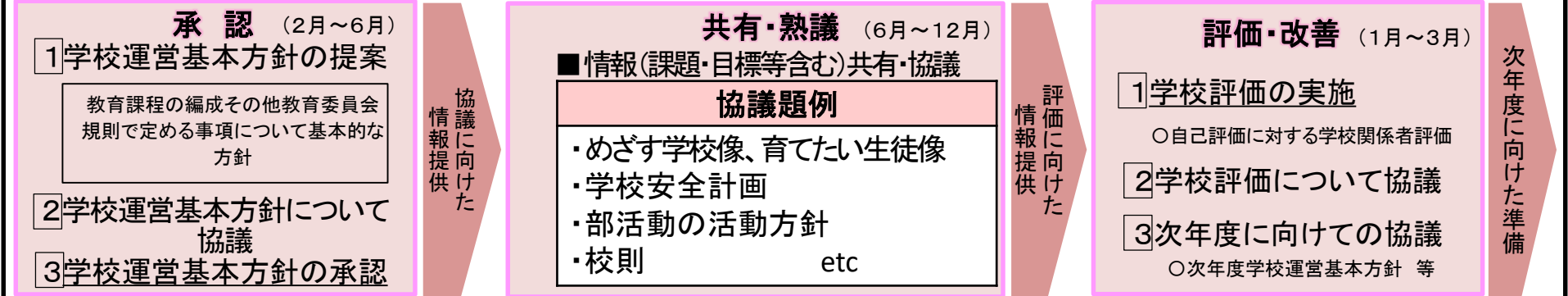
新しい学習指導要領の理念となる  
**社会に開かれた教育課程**

社会総がかりでの教育を実現する  
**地域とともにある学校**

これらの実現に向けて

## 県立高校の学校運営協議会のマネジメントサイクル

※下線部は、法令等でその実施が定められているもの。



地域住民・生徒・保護者・関係者に対する協議結果の積極的な情報発信 ※ウェブページ、やまぐちCSプロモーションの活用

## 熟議の場の設定 及び 協働につながる体制づくり

※熟議…当事者による熟慮と議論を重ねながら課題解決をめざす対話

※協働…同じ目的・目標に向かって、計画段階から参画し、対等な立場で協力して共に働くこと:CS活動推進員の活用

## 学校運営協議会での活発な議論に向けたヒント

※以下、学校運営協議会を「学運協」という。

### ◆開催前◆

- ・校長と学運協会長との事前の打合せ
- ・意見をもって参加できるよう協議資料の事前配付
- ・協議時間確保のための議題の精選

### ◆開催時◆

- ・前回の協議内容に係る取組進捗状況の確認
- ・生徒による活動報告
- ・生徒や教職員等を交えた熟議の実施

### ◆開催後◆

- ・校長と学運協会長との事後の振り返り
- ・協議結果を全教職員で共有
- ・ウェブページや学校便り等による保護者や地域住民への情報発信

## 地域連携教育エキスパート派遣依頼 及び 「熟議」サポート事業の活用

## 学校運営協議会の主な役割(地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第47条の5)

校長が作成する学校運営基本方針を承認すること

学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べるができること

教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができること

# ③具体的な取組（コミュニティ・スクール）

## 美祢青嶺高校

## 課題解決のための好循環創生モデル

### 美祢発！ひとづくり・まちづくりの 好循環創生モデルの構築

美祢青嶺高校生の発想による地域探究プロジェクトの推進

#### 目的

- 地域の将来を担う人材の育成
- 地域振興・県内定住などの地方創生に寄与

#### 地域の課題

- 継続的な自然減・社会減により人口減少が深刻化
- 観光・交流の創出など、地域の魅力化による地方創生が急務

地域課題を題材とした  
探究的な学びの推進

地域課題の解決に向けた  
教育の組織的・体系的な展開

美祢青嶺  
高校



地域探究プロジェクト

#### 地域参画プログラム

～知る・見つける～

- ・ 地域行事等ボランティアへの参加
- ・ 地域住民へのインタビュー等の現地調査
- ・ 市民会議への参加、地方創生に関する講義・講演

#### 地域創造プログラム

～考える・創る～

- ・ 海外からの留学生や企業・行政関係者との語り場
- ・ 遠隔会議、他校との交流会による熟議
- ・ 学習内容をまとめた「しっちょるMine」の作成

#### 魅力発信プログラム

～伝える・行動する～

- ・ Mine ジオパーク関係事業への参加
- ・ 外国語にも対応する観光案内板作成やガイド実習
- ・ 行政・観光協会等と連携した地域活性化方策の協働実践

助言・支援

学校運営協議会

市長部局、企業、  
商工会、小・中学校、  
PTA、市教委 等

#### まちづくり（めざす地域像）

- Mine ジオパーク事業を生かした「体験型観光地」の実現
- 交通の要衝に位置している地理的メリットの活用

好循環を創出！

#### ひとづくり（育成する人材像）

- 地域の担い手の当事者として地域課題に取り組む姿勢をもつ人材
- 将来の地域の担い手となるために、幅広い知識を身に付けた人材
- 地域との協働した取組の中で地域への誇りや愛着をもつ人材



地域探究プロジェクト  
秋吉台展望台での観光客へのインタビュー



火道切り  
(本校・美東中・秋芳中)



R2 木工テーブル・椅子寄贈  
(宇部総合支援学校美祢分教室)



# ④特色ある学科【地域創生科】



県立周防大島高等学校

地域創生科



地域を考え、未来を創る人材を育てる

- 専門的な知識・技術、資格をもったスタッフによる実践的な授業を通して、福祉の心や起業の精神をもって、地域に貢献できる人材を育成します。
- 豊かな自然や人との交流を通して、豊かな人間性・社会性・実践力を身につけます。

GOAL

PROGRAM

COURSE

福祉コース



- 介護職員初任者研修の実施(旧ホームヘルパー2級同等の資格を取得)
- 地域の福祉施設や看護学校等と連携した実践的な学習
- 福祉の学習を中心とした進路希望に応じた幅広いカリキュラム



施設実習



福祉実習

- 自分たちで栽培・収穫した素材を利用した商品開発・販売促進【6次産業体験】

- 地域で活躍する人材を招いた実践的な授業
- 簿記や情報処理、ビジネス文書などの資格の取得

ビジネスコース



情報処理検定



インターンシップ



ビジネスプランの検討

だれもが幸福に暮らせる地域を創造する人材の育成

【めざす進路】

本校専攻科(高校卒業生対象・2年制)、福祉系大学、短期大学、専門学校、福祉施設等への就職

地方から発信する新しいビジネスを創造する、起業家精神に満ちた人材の育成

【めざす進路】

経済・経営系大学、短期大学、専門学校、就職



## ⑤特色ある学科【探究科】

探究科設置校：宇部高校、下関西高校 (H30)  
萩高校 (H29)

未来を拓く次代のリーダーを育成  
大学入学者選抜改革への的確な対応

高い志

思考力・判断力・表現力

発展的な教科学習  
課題解決を図る学習活動

知識・技能の確実な習得

新たな時代に求められる社会人像

- 何が重要かを主体的に判断できる人材
- 多様な人々と協働していくことができる人材
- 新たな価値を創造していくことができる人材

大学入学者選抜改革



# ⑥ 「めざす学校像」「育てたい生徒像」

## 山口県立山口高等学校（全日制課程）

### めざす学校像

#### 輝く未来の創造に挑む学校



校訓「至誠剛健」のもと、伝統を大切にしながら、光り輝く未来創造をめざし、仲間とともに学び、挑戦し続ける意欲に満ちた学校

※ 至誠剛健：誠実さと真心を大切に、心身の強さ、健やかさをもって、何事にも積極的に取り組み、力強く生き抜く力を身に付ける

### 育てたい生徒像

#### 知・徳・体のバランスのとれた、次代を切り拓く社会のリーダーたる人材

#### 《生徒の行動目標》

**立志勲励** 高い志をもち、その実現のために努力し挑戦し続ける生徒

**自主考動** 自ら考え判断し、誇りをもって行動できる生徒

**協働共創** 他者と協働し、目標を共有しながら新たな価値の創造に取り組むことができる生徒

### 具体的な取組

- ICTの活用や主体的・協働的な探究活動等をおとした質の高い学力の定着
  - ・ 充実したカリキュラムや指導体制、ICTの活用による「わかる授業」の展開
    - ※ 生徒一人ひとりに貸し出されたタブレットを活用した授業の工夫・改善にも努めます。
  - ・ 自律的な生活態度や山高プライドの形成を支援する開発的な生徒指導の推進
    - ・ 生徒が主体となったマナーの一層の向上や、体験活動や講話等をおとした在り方・生き方を考える機会の設定
      - ※ 山高生としてのプライド（誇り）を自覚し、自ら規範的な行動ができる指導を図ります。
- キャリア教育の充実により自己実現に向けた「一つ上の目標」に挑む生徒を育てる進路指導の推進
  - ・ 講演会、大学見学、大学研究等の取組をおとした主体的な進路選択の支援と、学校全体で計画的に取り組む充実した進路指導
    - ※ 様々な機会を通じて具体的な進路情報を得ることにより、最適な進路実現を図ります。
- 特別活動・部活動等を通して心身の強さや健やかさ、社会性を育む取組の推進
  - ・ 生徒の自主性を尊重した生徒会活動の展開、達成感や感動が得られる部活動指導、魅力あふれる学校行事の企画・開催
    - ※ 銀鐘祭など、生徒が中心となった企画運営を行うことにより、社会性などを育成します。
- 保護者との連携や地域の教育力を活用した教育活動の充実
  - ・ PTAや地域の教育資源である大学や企業と連携した特色ある教育活動の展開
    - ※ 保護者や地域の方々と交流により、郷土愛を育てます。
- 家庭と教職員の連携による心のサポート体制の強化
  - ・ 家庭との連携を強化し連続したサポート体制を構築
    - ※ 家庭と学校を切れ目なく繋ぐことにより、連続した効果的なサポートを図ります。



## 山口県立田布施農工高等学校 TABUSE AGRICULTURAL TECHNICAL HIGH SCHOOL



## 未来を拓く農業と工業のコラボレーション



### めざす学校像

「地域社会で活躍する将来の職業人を育成する学校」  
～農工維新！田布施あい<sup>3</sup>プロジェクトの推進をとおして～

### 育てたい生徒像

- 地域産業の担い手として幅広い知識・技術を有する人
- Society5.0に柔軟に対応できる創造力を有する人
- 世代を超えて他者と協働して課題を解決できる人



平成31年度から文部科学省の指定を受け、下記の事業に取り組んでいます！

**「地域との協働による高等学校教育改革推進事業 プロフェッショナル型」**  
農工維新！田布施あい<sup>3</sup>プロジェクト～地域の未来を切り拓くジェネラリストの育成～

**3つの“あい”で地域課題の解決を目指す取組**

<p><b>STAGE1 「Eye(見る)」</b> 地域を見て知る</p> <p>地域について知り、地域課題を発見する</p>	<p><b>STAGE2 「I(自分)」</b> 自分ごととして考える</p> <p>地域課題解決のアイデアを考える</p>	<p><b>STAGE3 「AI(愛)」</b> 地域を愛し、地域に貢献する</p> <p>地域課題解決のアイデアを実践する</p>
--	--	--

☆田布施あいレポート(地域の課題や魅力を集約した新聞)の作成      ☆地域の課題解決についてのアイデア発表会等を実施      ☆地域と連携した商品開発や体験田活用などの実践が取組を実施

詳しい情報や最新情報はここでチェック！→ <http://www.tabuse-at.ysn21.jp>

# ⑦次期県立高校将来構想の策定

## 策定趣旨

15年先を見据えた本県高校改革の基本的な考え方や施策展開の方向性を示し、教育の質の確保・向上を図る

## 計画期間

令和4年度～令和13年度

## 主な内容

- 今後の県立高校の在り方
- 特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備 等

## 検討協議会

学識経験者等18人の委員による6回の検討協議会を実施

## 策定

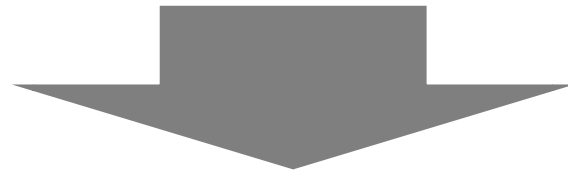
令和3年度末（予定）

## その他

「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」の設定について明記

# ⑧「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」設定の流れ

県立高校将来構想の策定（令和3年度中）



スクール・ミッション【県教委が設定】



スクール・ポリシー【学校が策定】

令和6年3月まで



## ⑨「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」の設定方法

### スクール・ミッション

- 県教委の各部署との検討会
- 学校へのヒアリング・調整
- 学校運営協議会の活用

### スクール・ポリシー

- 校内検討部会等での校内の協議
- 学校運営協議会の活用

# ⑩「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」について

**目的**: 設定によって、学校の進むべき方向を分かりやすくし、教育活動の充実を図る

## 【3つの視点】

### ①生徒・学校外の関係者にわかりやすく提示

●校内外の誰がみてもわかるような、学校の役割や教育理念を提示

### ②教職員・生徒・保護者・地域が共有

●「社会に開かれた教育課程」の実現をめざし、目標を共有

〔1年に1回、教職員・生徒・保護者へのアンケート  
(既存のアンケート等を活用)を実施し、共有の状況を把握  
<アンケート項目の例>

- 教職員 : スクール・ミッションを意識して、日々の教育活動を実践している
- 2、3年生 : グラデュエーション・ポリシーを知っている
- 1年生 : 本校入学前に、アドミッション・ポリシーを知っていた

### ③PDCAサイクルによる教育活動の改善

●カリキュラム・マネジメントにより、「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」を基準に教育活動を計画・実践・評価・見直し

〔スクール・ミッション : 数年おきに評価・見直し  
スクール・ポリシー : 毎年度、学校運営協議会において評価・見直し〕

